

用途の広い全天候型 超音波加湿器

FT-C series

FT-C202/C402/C202UV/C402UV

取扱説明書

このたびは、ユーキャン超音波加湿器をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、取付、保守、点検を行って下さい。

要保存

施工業者の皆様へ。
工事完了後、ユーザーの方へお渡し下さい。

ユーキャン株式会社

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずお読み下さい。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。

ここに示した注意事項は、加湿器を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しております。安全に関する重要な内容ですので、必ず守って下さい。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています



注意

人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れのある内容を示しています

※トランスボックスに表示している記号の意味について



感電注意を表しています。



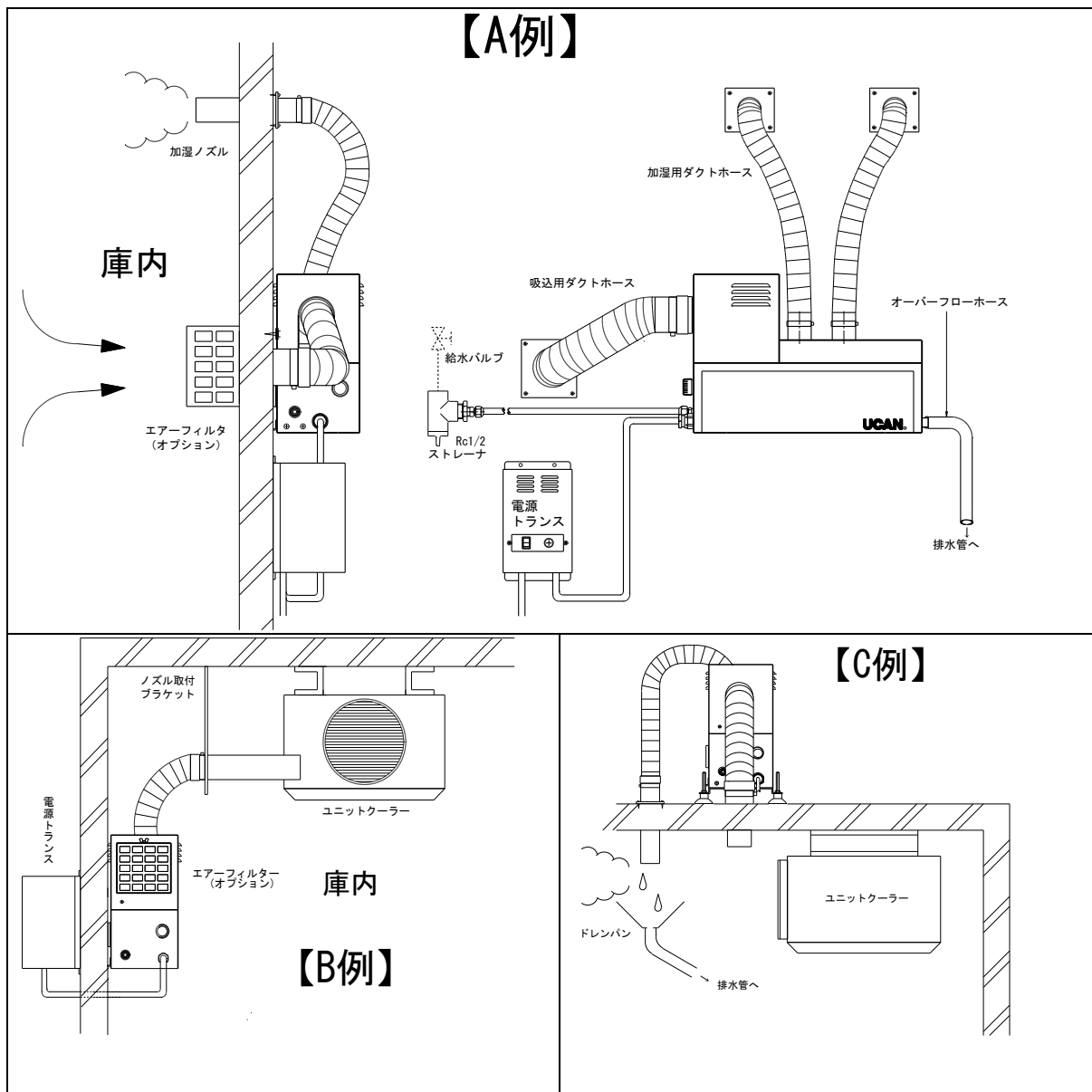
警告

- 設置の前に「取扱説明書」をよくお読みになった上で、内容に従って正しく設置して下さい。
- 本製品の設置は弊社サービスマン、又は専門業者に依頼してください。ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電、火災の原因となります。
- 本製品の別売り品は必ず弊社指定の品を使用して下さい。又、取付に関しても弊社サービスマンに依頼して下さい。ご自分で工事され不備がありますと水漏れや感電、火災の原因となります。
- 本製品の保守・点検、修理には専門技術が必要です。必ず弊社にご相談ください。
- UVランプ搭載機種では、裸眼でUVランプを見ないで下さい。失明の原因となります。
- 濡れた手で電装部をさわらないで下さい。感電の原因になります。
- ACケーブルを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げるなどのことはしないで下さい。傷ついた部分から漏電して火災や感電の原因になります。
- ACケーブルを束ねたり、結んだりして使用しないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が起こった場合、そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、主電源を抜いて下さい。その後直ちに販売店または最寄りの営業所（巻末に記載）までご連絡下さい。
- 本器の不必要な分解、改造をしないで下さい。火災や感電の原因になります。

注意

- UVランプ搭載機種では、UVランプの光を皮膚に長時間当てないで下さい。
 - 運転中は、移動したり振動をあたえないで下さい。感電、漏電の原因になります。
 - 不安定な場所や振動のある場所に本体およびトランスボックスを設置しないで下さい。機器の故障原因になります。
 - ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所、高温や火気の近くには設置しないで下さい。火災の原因になることがあります。
 - 緊急時に電源を落とせるように、ブレーカーの周りには物を置かないで下さい。発煙等の異常時にブレーカーが落とせず、火災や感電の原因になることがあります。
 - 指定以外の電源電圧で使用しないで下さい。火災や感電の原因になることがあります。
 - アース線は必ず接続して下さい。
 - 回路チェックにメガテスターは使用しないでください。高電圧で電子部品故障の原因となることがあります。
 - 寒冷地、氷点下で使用する場合は、凍結防止の処置を給水配管全てに行ってください。凍結によりホースが破裂することがあります。
 - 振動子の寿命は約5,000時間です。使用環境、条件により寿命が短くなることがあります。
 - 水槽内の水を清潔に保つため、3日に一度は水槽内部、及び吹出ダクトホース内部の清掃を行ってください。雑菌が繁殖することがあります。
- ※手入れが出来ない場合は、電源を切ると自動的に排水する排水電磁弁か、排水ボール弁（オプション）をお勧めします。
- 清掃の時は、電源を切って下さい。感電の恐れがあります。
 - 加湿器を長時間使用しない時は水槽の水を捨てて下さい。排水をしないで引き続き使用しますと、雑菌等により異臭を発生することがあり、身体に悪影響を及ぼすことがあります。
 - 加湿器には水以外の物を使用しないで下さい。故障を起こし、火災や感電の原因になることがあります。

1. 加湿器の取付方法例



【本体の取付】

- 1) 加湿器を壁面に取り付ける場合 (A例・B例) は、まず最初に取り付フック (次頁: 取付フック寸法図参照) をネジ止めし、それに加湿器を差し込みます。本体が水平になるように取り付けてください。
- 2) 電源トランスは本体近くの庫外へ取り付けてください。
- 3) プレハブ冷蔵庫の屋上部に取り付ける場合 (C例) は別売りの本体取付用ブラケットをご利用になると簡単に取り付けられます。また、吹出ノズルからドレンが滴下しますので、ドレンパンを設置してください。凍結の心配がある場合には、凍結防止対策を行ってください。
- 4) いずれの場合も、本体を逆さまや横倒しの状態に取り付けますと、故障の原因になりますので、上図取付方法 (例A・B・C) を参考に正しく設置してください。

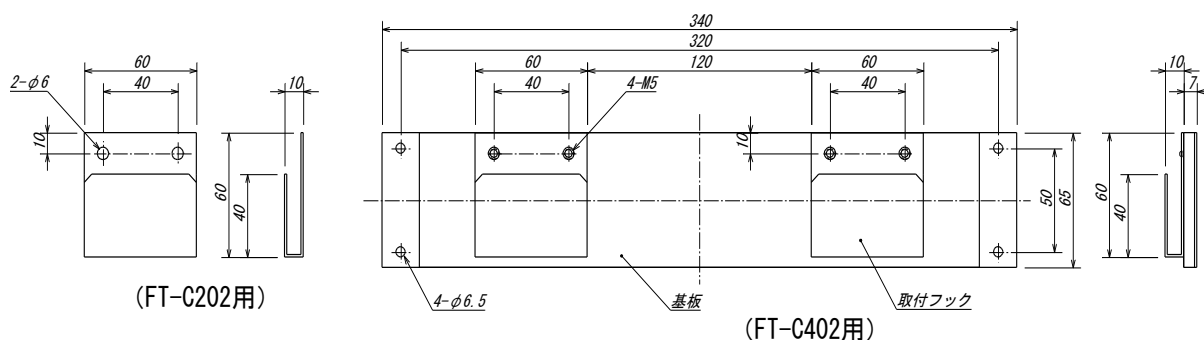


注意

庫外に加湿器を設置する場合は、風雨や直射日光が当たらない場所で、冬期に凍結の心配がない条件下でご利用下さい。

取付フック寸法図

(本体取付／エアフィルター取付兼用)



【吹出ノズル及び吸込管の取付方法 (A例・B例)】

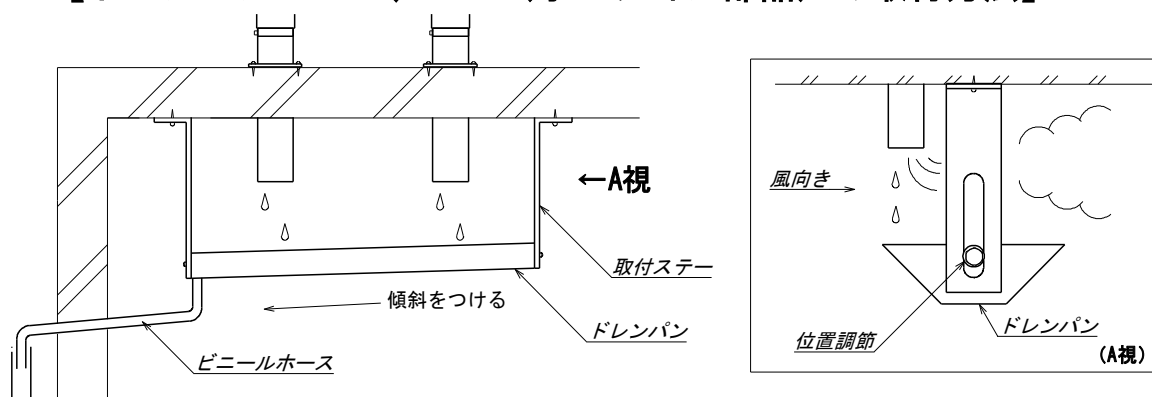
- 1) ホールソーで壁面に取付穴を貫通してください。吹出ノズルは、 $\phi 34 \sim \phi 36$ 、吸込管は $\phi 52 \sim \phi 55$ の穴を開けます。また、A例のように壁面取付の場合は、吸込管は本器吹出口より10cm～20cm下部に穴を開けてください。
- 2) 吹出ノズルは、やや先上がりになるように取り付けてください（ドレンがスムーズに本器へ戻るようにするため）。
- 3) 管と壁面との隙間をシリコンなどでコーキングした後、付属の加湿用及び吸込用ダクトホースを各々差し込みバンドで締め付けてください（別売りのノズル取付ブラケットをご利用になりますと、簡単に取付が出来ます）。
- 4) いずれの方法に際しても、クーラーの airflow に霧が上手く乗るように吹出ノズルの位置を選定してください。

【エアフィルター（オプション部品）の取付方法 (A例・B例)】

- 加湿器を庫外へ設置し、エアフィルターを庫内へ取り付ける場合 (A例)
 - 1) ホールソーで壁面に $\phi 52 \sim \phi 54$ の穴を開け、エアフィルターの空気吸込管を差し込み、4mmのタッピングビスで固定します。
 - 2) 吸込管と壁面の隙間をコーキング材で目詰めた後、フィルターケース・ダクトホースを取り付けます。
- 加湿器を庫内へ設置し、エアフィルターを取り付ける場合 (B例)

付属取付フックを壁面に取り付け、フィルターを差し込みます。取付フックは、上図のFT-C202用と同じものです。

【ドレンパンDP-500、1000（オプション部品）の取付方法】



- 1) 取付ステーをタッピングビスで天井に取り付けます。
- 2) ドレンパンを取付ステーに取り付けます。この時排水側を下に傾斜をつけてください（位置調節ネジで調整する）。
- 3) 付属のビニールホースをドレンパンに接続し、片方を排水管につなぎます。

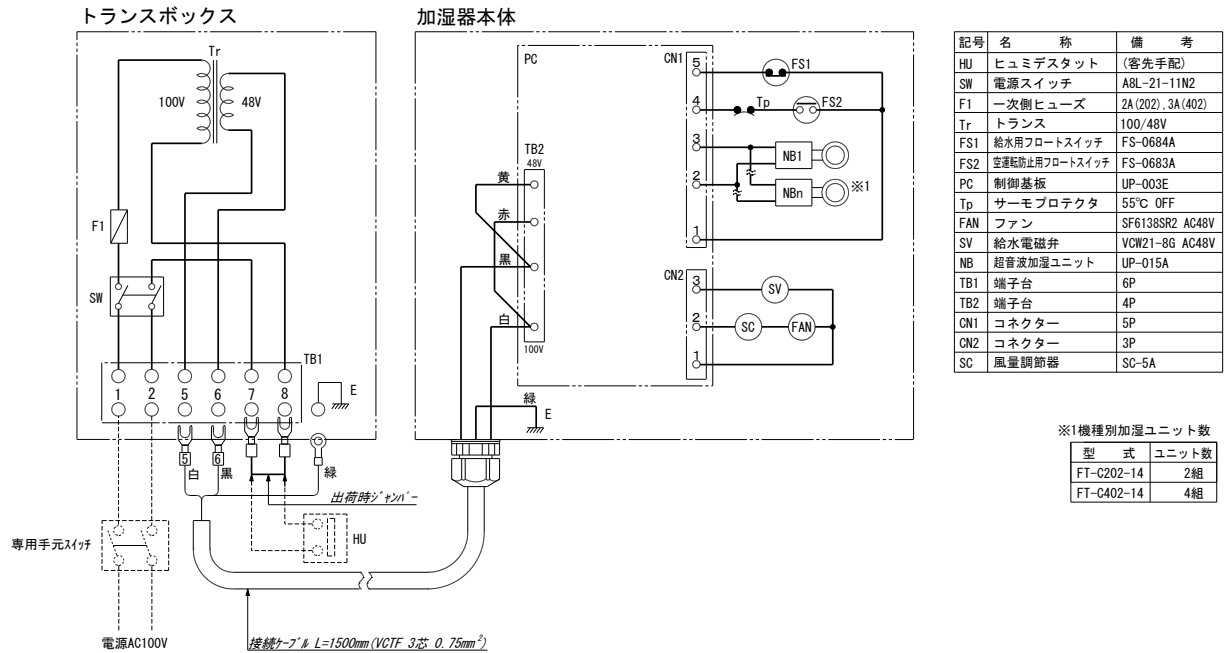
【湿度調節器（ヒュミディスタット）の取付方法】

- 1) 湿度調節器のセンサー部は、その部屋でもっとも湿度をコントロールしたい位置で、直接霧のかからない場所に取り付けてください。
- 2) 空気が流れがある部屋では、湿度が一番安定している場所、たとえば空調機のリターン側の近くなどに設置してください。
- 3) 配線は、電気結線図通りに配線してください。湿度が低下するとスイッチがON、上昇するとOFFになります。

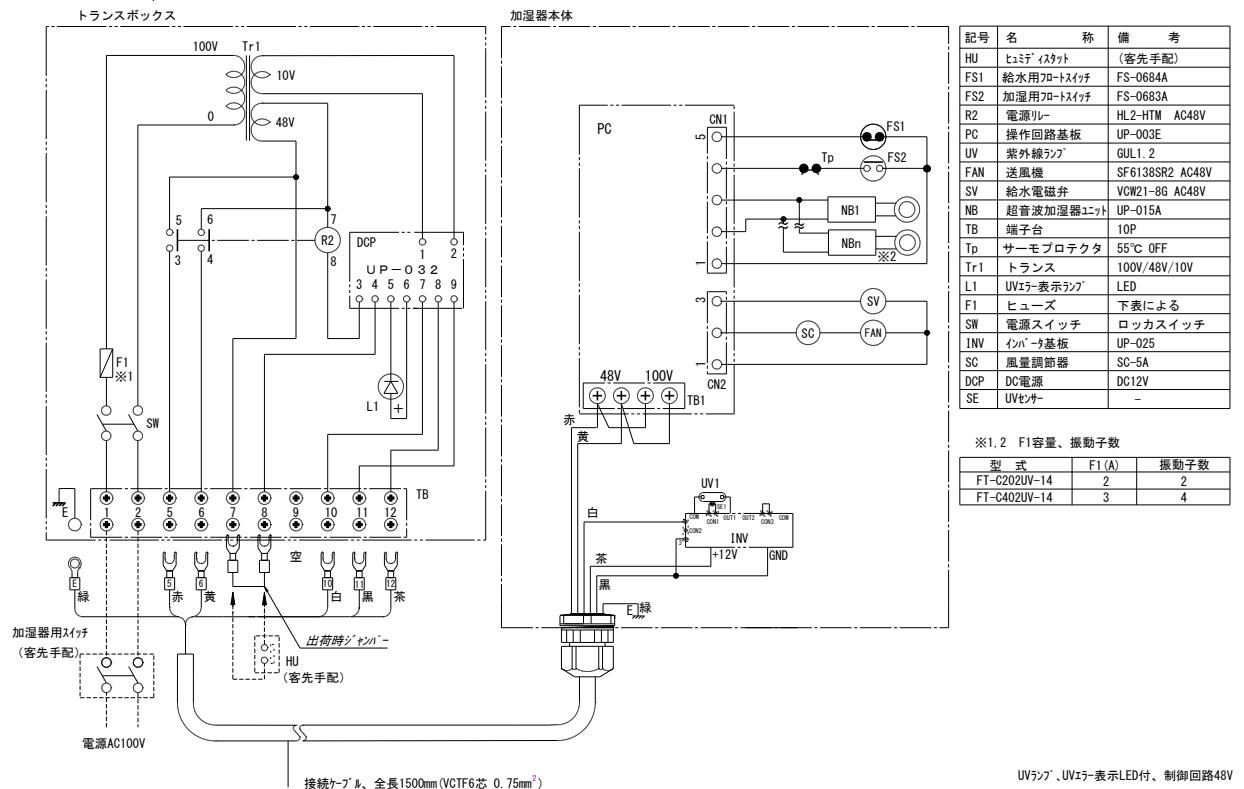
2. 電気工事

- ① 電源は、AC100Vです。電源トランスのカバーを外し、端子台の①②番へ配線してください。
- ② 加湿器本体のリード線を結線図通りの端子へ接続してください。
- ③ 加湿器専用手元スイッチを必ず設けて下さい。
- ④ 湿度調節器(ヒューミディスタット)は接点容量が3A以上のものを使用してください。
- ⑤ アース用端子はネジ止めタイプになっています。必ず所定の位置に固定してください。

FT-C202/C402



FT-C202UV/C402UV



3. 配管工事

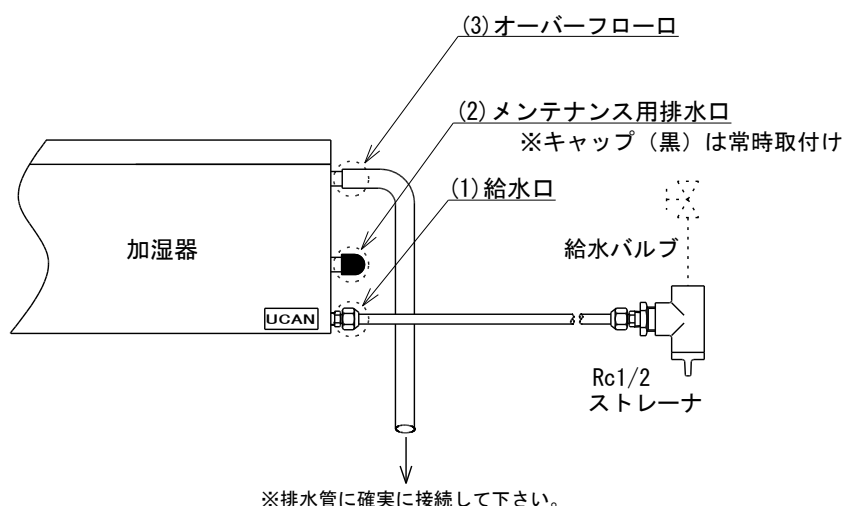
給水は、市水または上水を供給してください。給水圧は、0.03MPa～0.5MPa(0.3～5.0kgf/cm²)の範囲内で供給してください。公共の水道に直接接続することは出来ません。自家用受水槽、もしくはシスターンを設けて下さい。冬期0℃以下になる場合は、加湿器水槽内の水の凍結、給・排水系統の凍結防止策を行ってください。

※補給水の水質について

超音波加湿器は、水を微細な霧状にして空気中へ噴霧しますので水に溶解している鉱物質はそのまま空気中へ放出され、蒸発とともにそれらは“白い粉”となって空気中に浮遊したり、室内の機器類や壁面などに付着します。コンピューターのディスプレイがチラついたり、クリーンルームに塵埃が浮遊するなどさまざまな不都合を生じることがあります。このような“白い粉”の発生を防止するには、RO純水装置などで処理した水を供給する必要があります。

(弊社製品では、UPRシリーズ、UPWシリーズがこれに該当します。ご検討の際は弊社各営業所までお問い合わせください。また、工場設備の超純水等をご使用になる場合、配管等に悪影響を及ぼす場合があります。弊社までお問い合わせください。)

- ① 本体への給水接続は、1/2インチ管を用います。本体の給水接続口より1m以内に配管して下さい。
- ② 管末には、ストップバルブを取り付けて下さい。
- ③ 付属の銅管及び1/2インチストレーナで本体に接続します。なお、本体へ接続する前にしばらくバルブを開き、管の中のゴミを洗い流して下さい。この作業を怠りますと、加湿が正常に行われなかったり、電磁弁のゴミ噛みを生じ、オーバーフローの原因になります。
- ④ オプション排水電磁弁付き以外の排出口にはキャップ（黒）がついています。メンテナンス時以外は絶対に外さないで下さい。キャップが外れていると加湿運転しません。
- ⑤ オーバーフローは正常な運転状態では起こりませんが、本器内の給水電磁弁にゴミが詰まった場合、本体の取り付けが水平でない場合など異常時にオーバーフローすることがあります。付属のビニールホースを排水管に確実に接続して下さい。



- ⚠ 注意
- ・機種によって給水口、排水口、オーバーフロー口の位置が異なります。
 - ・排水口キャップ（黒）が外れていると加湿運転しませんのでメンテナンス時以外は外さないで下さい。

4. 運転方法

- 1) 湿度調節器のダイヤルを希望する湿度にセットし、給水弁を開き、電源を入れて給水を行います。
- 2) 規定の水位に達すると、空運転防止用フロートスイッチが解除され、加湿運転を開始します。
- 3) 規定の水位に達すると、給水用フロートスイッチが作動し、給水は停止します。その後、加湿により水位が低下すると自動的に給水が繰り返されます。
- 4) 断水した場合は、空運転防止用フロートスイッチが作動し、運転は自動的に停止します。
- 5) 風量調整ボリュームを、希望する風量にセットしてください。
※風量が多くなるにつれ、噴霧量、噴霧距離が向上しますが、粗い霧の発生量が増加します。
- 6) 水圧が高い場合、水槽内で波がたち、給水用フロートスイッチが頻繁にON-OFFし、電磁弁がカチカチと音を発することがあります。そのような状態での使用は電磁弁寿命を低下させるので、バルブを絞って調節して下さい。配管各部の水漏れがないことを確認して下さい。



注意

- 運転中に本器を持ち上げたり、動かしたりしないで下さい。
- 通電した状態で本器を横倒しや逆さまにしないで下さい（空運転状態になり、超音波発振回路が故障します）。
- 振動子、UVランプ等の消耗部品は定期的に交換してください。（振動子寿命：5000時間程度、UVランプ寿命：10000時間程度）
- 加湿量よりも給水量が少ない場合、ON-OFFを頻繁に繰り返し、故障することがあります。※給水圧0.03MPa(0.3kgf/cm²)～0.5MPa(5.0kgf/cm²)で使用して下さい。
- 砂、石、鉄粉などが水槽に入ったままの状態、運転しないでください。

5. 日常点検方法

本製品を長くお使い頂くために定期的に清掃および消耗品交換を行って下さい。



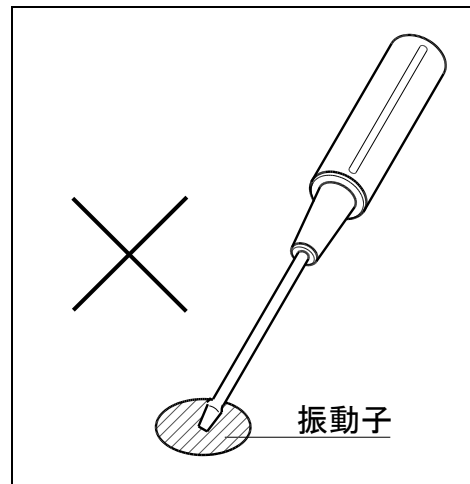
注意

- 水槽内、ダクトホース、噴霧ノズルは水質や空気中のホコリにより汚れやすいため、保健衛生上定期的に（3日に1度）清掃を行って下さい。また、生鮮食品、生物への加湿を行う場合は、毎日清掃を行って下さい。
- 必ず電源スイッチを切り、給水バルブを閉めてから行って下さい。
- 本体を分解する際は、あらかじめ水槽内の水を抜いてから行ってください。
- 排水は、本体下部の排水口キャップをはずして行います。バケツやバットの様なもので受けて行ってください。

■水槽・振動子の手入れ

- ①電源スイッチを切って下さい。
- ②吹出部、及び水槽上蓋を取り外します。
- ③排水を行い、水槽の汚れをきれいなウェスなどで拭き取ります。
- ④振動子（丸い金属板）の表面は柔らかい布などで汚れを拭き取ります。決してドライバーなど固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。

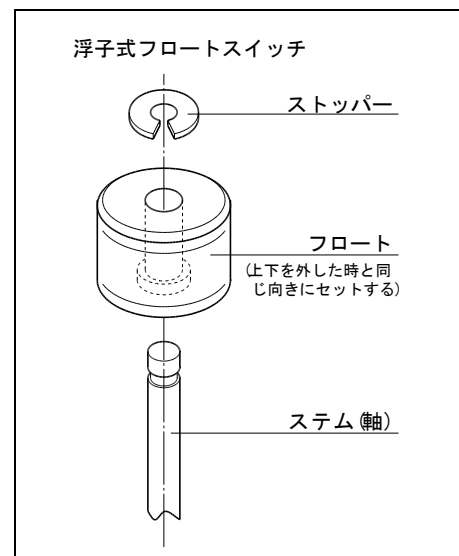
汚れを取り除いた後、電源スイッチを入れて給水し、もう一度排水して水槽内部をクリーンにして下さい。



■フロートスイッチの手入れ

FT-Cシリーズは浮き子式フロートスイッチを使用しています。

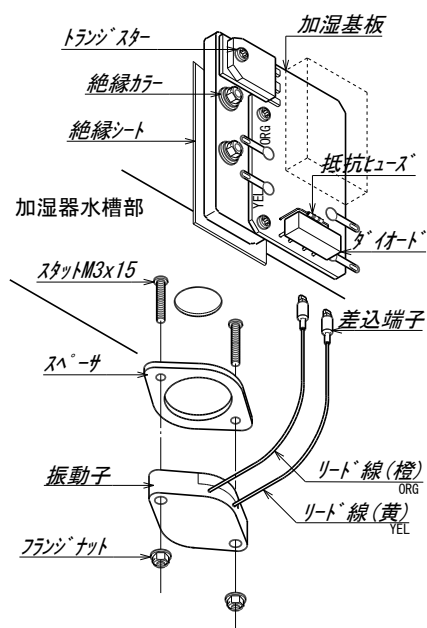
- ①通常はフロートを指で上下に動かし、スムーズに動けばOKですが、念のため、軸部、フロート部の汚れは丁寧に拭いて下さい。
- ②ストッパーを外し、軸フロートを拭いて掃除して下さい。
- ③フロートは、上下の向きが決まっています。見落としの無いように外す前に良く確認してから行って下さい。（フロート下部に磁石が来るように取り付けてください。）



■振動子の点検・交換の仕方

水槽底部の振動子（丸い金属）は、長期間使用するうちに経年劣化し、霧化量が減少していきます。新しい振動子に交換することで、加湿量が蘇ります。

- ①振動子を留めている2個のフランジナットを外して下さい。（3mmナット用のボックスドライバ使用）
- ②基板に差し込んである黄色と橙色のリード線を抜き、振動子を取り外します。
- ③新しい振動子に交換し、フランジナットを締めます。このとき、片締にならないよう左右バランス良く締めて下さい。
- ④リード線の差込端子をYEL（黄色）、ORG（橙色）表示通り差し込みます。



⚠ 注意

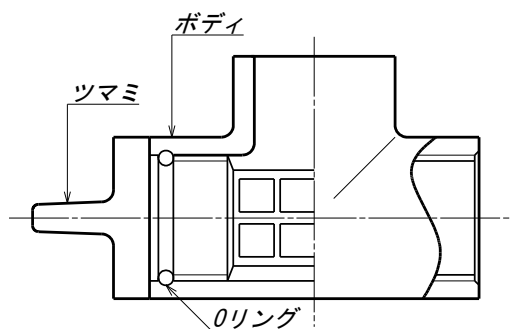
- 振動子のリード線には極性があります。YEL・ORGの指示通りに接続して下さい。

■ストレーナの手入れ

- ①反時計方向に回し、ストレーナを取り出します。
- ②ストレーナ底部にゴミがたまっていれば、それを取り除いて下さい。
- ③元通りに組み立てます。

⚠ 注意

- 試運転前・メンテナンス時・清掃時などにおいては、キャップをしっかりと締め切り、ツマミとボディの間が密着していることを確認してください。
- キャップを締め込むときには、ストレーナ内を水抜きした状態で締め込みしてください。（水圧が原因でOリングが変形し、水漏れの原因となります場合があります。）



■UVランプの手入れ（UVランプ搭載機種のみ）

ランプ外管（石英ガラス管）の汚れを柔らかい布などで拭き取ります。決してドライバ

一など固いもので削ったり、叩いたりしないで下さい。ガラス管が破損することがあります。

■UVランプの交換方法

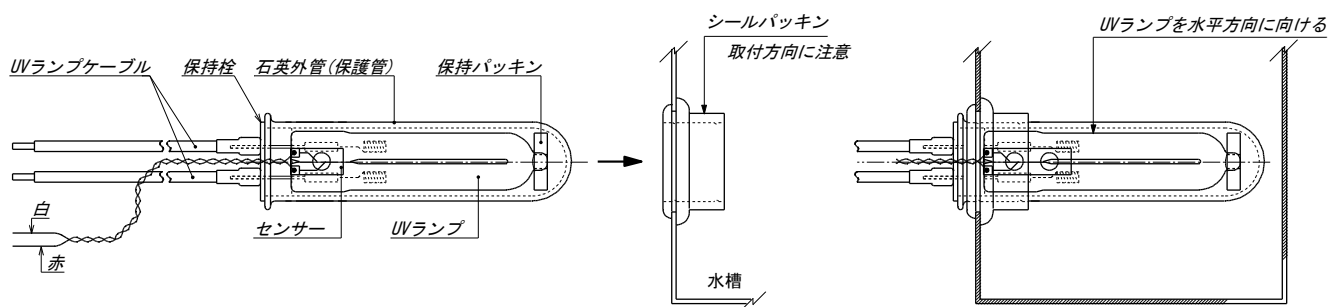
経年劣化によりランプが光量不足になると、センサーが働き加湿器本体を停止させます。それと同時に、トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯しますので、その際は最寄りの営業所にご連絡下さい(各営業所の連絡先は裏表紙に記載してあります)。

※UVランプの寿命は約10,000時間です。

※弊社から交換部品としてUVランプを出荷する際は、①石英外管(保護管)②保持パッキン③センサー④保持栓⑤ケーブルを組み合わせたセットで供給いたします。バラ売りはできませんのであしからずご了承ください。

【UVランプ交換手順】

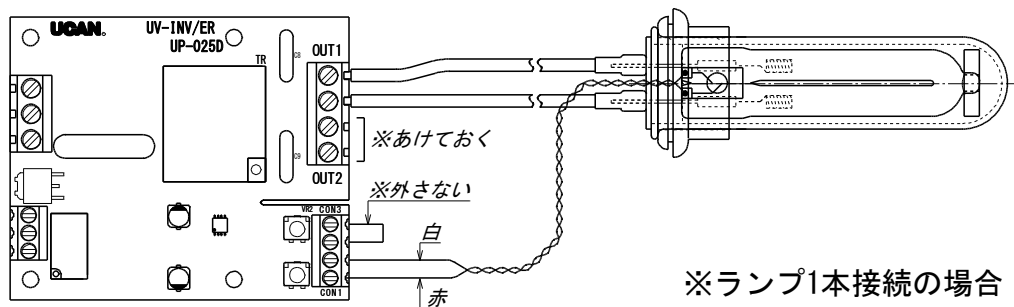
- ①「UV-INV基板」から、既設UVランプの電源ケーブルおよびセンサーのケーブルを抜きます。
 - ②「UVランプ」を石英外管ごと水槽部から抜きとります。
 - ③新しい「UVランプ」を水槽部シールパッキンに挿入します。このときシールパッキンがよじれたり外れたりしないようにご注意ください。
- ※シールパッキンにキズや劣化がある場合は、新品に交換して下さい。漏水の原因になります。
- ④UVランプが水平になるように調整して下さい。



- ⑤ UVランプケーブルを“UV-INV基板”のOUT1またはOUT2に接続します。
接続方法：端子台の上部にあるネジをゆるめ、ケーブルを差し込み、ネジを締め付けます。

※UVランプケーブルには極性はありません。

- ⑥同様に、センサーからのケーブルを“UV-INV基板”のCON1またはCON3に接続します。
※センサーには極性がありますので、下図を参照の上、赤・白線の接続位置を間違えないように接続して下さい。また、わたり線がある場合はそのままにしておいて下さい。



■電源トランスの点検方法

危険防止のため、電源元スイッチを切ってから作業を進めて下さい。

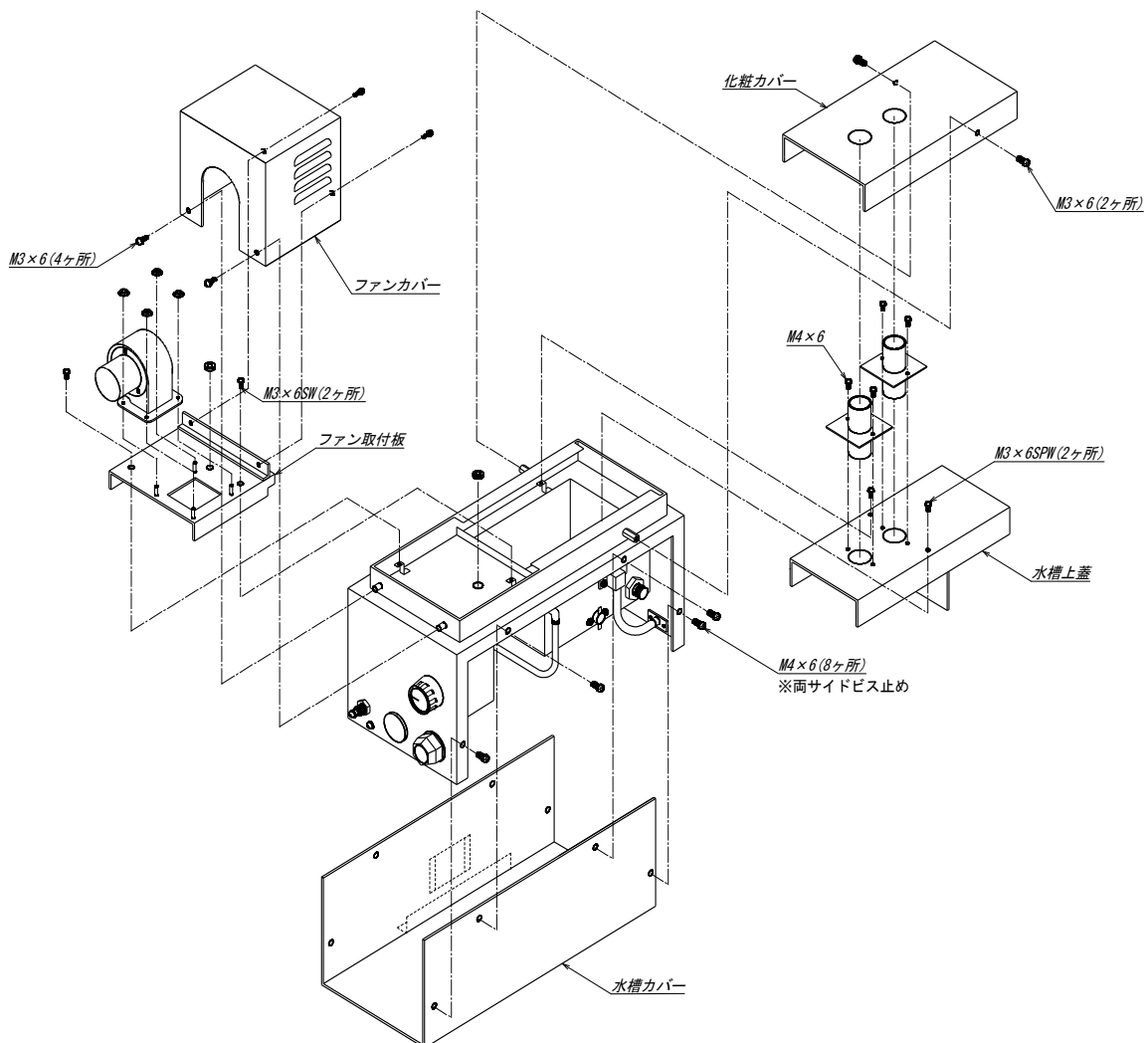
- ① トランスボックスのカバーを外します。
- ② ヒューズを点検して下さい。切れている場合は、スイッチ取付板内側にテープで留めてある予備のヒューズと交換してください。
- ③ サージフィルタ（バリスタ）が焼損又は破損（亀裂等）していないか点検して下さい。
- ④ メガーテスターで絶縁抵抗を測定します。加湿器本体への接続ケーブルを取り外し、本体との関係を遮断します。接地端子又はケースに測定リード線の片側を、他のリード線を端子台番号①②番に接続し、各々テスターの指示が100MΩ以上であることを確認して下さい。
- ⑤ 電源元スイッチ及びトランスボックスのスイッチを入れ、電圧が正常かどうか、端子台のカバーを外し、各端子をテスターで計測して下さい（端子台①②間-100V、⑤⑥間-48V）。ヒューズが切れていた場合、加湿器本体にも原因があります（7項参照）。

6. 加湿器本体の分解方法

プラスドライバーと3mmボックスドライバーを準備してください。

- 1) 化粧カバー及び水槽上蓋（噴霧口）を外します（水槽内部が現れます）。
- 2) ファンカバー及びファン下部の取付板を外します。
- 3) 水槽カバーを外します。

以上で、水槽内の清掃及び電気系統の点検、部品交換が行えます。



7. トラブルシューティング

故障したとき、まず先に点検することは・・・

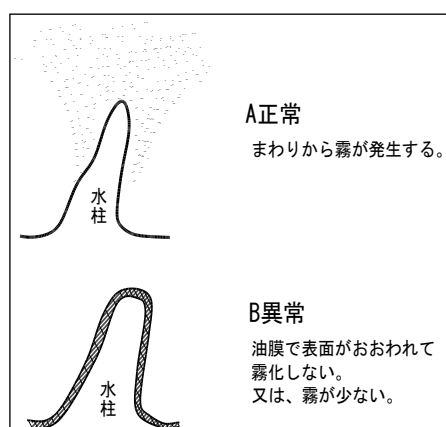
故障？	チェック	処置
加湿器が作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電気は供給されていますか？ ●トランスボックスのスイッチはONになっていますか？ ●トランスボックスのヒューズは切れていませんか？ ●湿度調節器の設定値は正常ですか、ONになっていますか？ ●UVランプが切れていませんか？（トランスボックスの「UV不良表示ランプ」が点灯していませんか？） 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源、ブレーカ確認 ●スイッチを入れる ●ヒューズ交換 ●ダイヤルを高い湿度設定方向へ回す ●UVランプ交換
給水しない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水元バルブは開いていますか？ ●ストレーナにゴミは詰まっていますか？ ●給水フロートスイッチが汚れで固着していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●バルブを開く ●ストレーナ分解・清掃 ●フロートスイッチ(黒)を清掃
給水するが加湿しない	<ul style="list-style-type: none"> ●空運転防止フロートスイッチが汚れで固着していませんか？ ●水槽内の水温が高くなっていますか？(50℃以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロートスイッチ(青)を清掃 ●排水し、新たに給水
給水がとまらない	<ul style="list-style-type: none"> ●給水フロートスイッチが汚れで固着していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●フロートスイッチ(黒)を清掃
霧の出方が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ダクトホース内に水が溜まっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ●トラップをなくす

以上を点検し、それでも直らない場合は、最寄りの弊社営業所または本社技術部へご相談ください。

●噴霧量が少ない場合

<設置後まもなくの時>

- ①水槽内の水に油成分、配管用接着剤などが混入している場合は、霧化が正常に行われません。電源を切ってから一度排水し、中性洗剤、スポンジタワシで水槽内を清掃後、再度給水して下さい。泡が消えるまで排水を続けます。
- ②電源電圧が低下していないかチェックして下さい(許容範囲：定格の±10%)。



<長時間使用后>

- ①振動子の表面に汚れがたまっていないか調べて下さい。汚れている場合には、柔らかい布などで拭き取って下さい。
- ②振動子の表面を覆っているメッキがはがれていたり、傷ついている場合は振動子の寿命です。新しい振動子と交換して下さい。

9.仕様

本体外形仕様図

FT-C202 (C202UV のトランスポックスは C402UV 用と寸)

加湿器本体

電源トランスボックス

標準仕様

項目	加湿量 (L/Hr)	加湿ユニット数	電源	消費電力 (V A)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全装置	吸込空気条件	周囲条件	重量 (kg)
FT-C202	1.0	2	AC100V (AC200V)	88	0.75	配管による 自動給水 0.03~0.5MPa	空運転防止 過電流防止 サージフィルタ	-5℃~50℃ 99%RH以下	5℃~40℃ 90%RH以下	本体: 5.5 トランス: 2.8
FT-C202UV	1.0	2	AC100V (AC200V)	92	~0.8					本体: 5.7 トランス: 3.2

注) 破線部は客先施工 ※印はオプションによるもの

FT-C402/C402UV

加湿器本体

電源トランスボックス

標準仕様

項目	加湿量 (L/Hr)	加湿ユニット数	電源	消費電力 (V A)	風量 (m ³ /min)	給水方式 給水圧力	安全装置	吸込空気条件	周囲条件	重量 (kg)
FT-C402	2.0	4	AC100V (AC200V)	148	0.75	配管による 自動給水 0.03~0.5MPa	空運転防止 過電流防止 サージフィルタ	-5℃~50℃ 99%RH以下	5℃~40℃ 90%RH以下	本体: 7.3 トランス: 3.8
FT-C402UV	2.0	4	AC100V (AC200V)	152	~0.8					本体: 7.5 トランス: 6.0

注) 破線部は客先施工 ※印はオプションによるもの

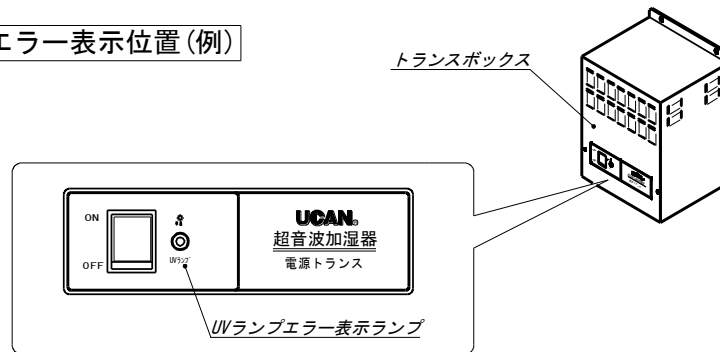
UV ランプ注意事項、および仕様

※UV ランプ搭載機種のみ

1) 注意事項

UV ランプが光量不足や消灯状態になると、電源スイッチパネルにある「UV ランプエラー表示ランプ」が点灯し、加湿器が停止します。すぐに UV ランプを交換してください。(UV ランプの寿命は約 10,000 時間です。)

UVランプエラー表示位置(例)



※機種により、スイッチ板のレイアウトは異なります。

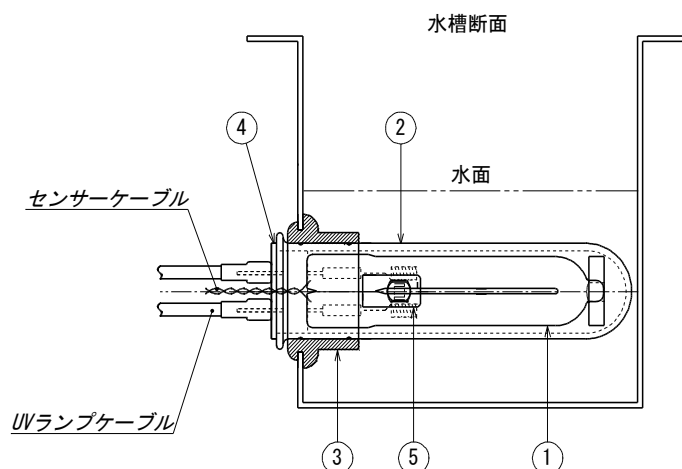
※ UV ランプ外管 (石英ジャケット) 表面が汚れると殺菌能力が低下しますので、定期的にウエス等で汚れを拭きとって下さい。

※ UV ランプは水槽内を殺菌しますが、接続されているダクトホース内、噴霧ノズルには有効では有りません。それらを定期的に清掃して下さい。

警告

- 裸眼でUVランプを見ないでください。
- 皮膚に長時間照射しないでください。

2) 仕様



No.	品名	型式
①	紫外線ランプ	GUL 1.2
②	石英外管	φ 18, L=70mm
③	シールパッキン	UVP-001
④	保持栓	UVP-002
⑤	センサー	UVS-cds

保証期間

1. 本製品の保証期間は、工場出荷後一年間です。
2. 保証期間中の「正常な使用状態」において「製造上」の責任による故障が発生した場合は無償修理を行います。
3. 保証期間中でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の説明をお守りにならなかったために発生した故障の場合。
 - (ロ) 故障原因が本器以外による故障の場合。
 - (ハ) お客様が商品に改造を加えたために発生した故障の場合。
 - (ニ) 火災、震災などの天災地変による故障および損害。
 - (ホ) お買い上げ後の輸送、移動などによる故障の場合。
 - (ヘ) 振動子交換。
4. 遠隔地への出張サービスを行った場合の宿泊および交通の費用は、弊社旅費規程によりその費用を請求させていただきます。
5. 本商品の保証修理以外での補償は致しかねます。
6. 本保証は日本国内においてのみ有効です。

お問い合わせ、ご用命は

UCAN®

ユーキャン株式会社

本社	●〒193-0832	東京都八王子市散田町5-6-19 TEL. 042-665-8846 FAX. 042-661-3887
東京営業所	●〒160-0022	東京都新宿区新宿1-1-7 コスモ新宿御苑ビル TEL. 03-5379-1461 FAX. 03-5379-1460
大阪営業所	●〒541-0046	大阪府中央区平野町1-7-14 平野町グランドビル TEL. 06-6227-1317 FAX. 06-6227-1319
名古屋営業所	●〒460-0002	名古屋市中区丸の内3丁目2-1-23 宇佐美丸の内ビル TEL. 052-385-3298 FAX. 052-385-3606
福岡営業所	●〒812-0027	福岡市博多区下川端町1-3 明治通りビジネスセンター別館 TEL. 092-281-9241 FAX. 092-281-9244

なお、記載された商品の仕様・デザインなどは、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承下さい。

<http://www.ucan.co.jp/>

info@ucan.co.jp

2190401